

- 問1 日本の高速鉄道網である東北新幹線について、東北地方の南部に位置し、首都圏と東北の各都市を結ぶ交通の要所となっている県はどこですか。
(2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 長野県 2. 岐阜県 3. 福島県 4. 福井県
- 問2 東北地方の電力事情について、青森県の下北半島や秋田県・山形県の日本海沿岸部などに、発電所を示す記号が帯状に多く分布している場合、これらは主にどの再生可能エネルギーを利用した発電所であると考えられるか。
(2024年 青森県公立入試 類似)
1. 風力発電 2. バイオマス発電 3. 水力発電 4. 地熱発電
- 問3 日本の諸地域における面積と人口の割合を整理した統計において、国土全体に占める面積の割合が約18%であるのに対し、人口の割合が約7%にとどまっている地方があります。この地方の人口密度に関する記述として最も適切なものはどれですか。
(2020年 福島県公立入試 類似)
1. 人口の割合が面積の割合を大きく上回っており、都市部での過密化が最大の課題となっている。 2. 面積の割合と人口の割合がほぼ一致しており、全国平均に近い人口密度である。 3. 広大な平野部に人口が集中しているため、全国でも有数の高い人口密度を示している。 4. 面積の割合に比べて人口の割合が小さいため、全国的に見て人口密度が低い。
- 問4 東北地方の交通網について述べた文として、福島県の地理的特徴をふまえて正しい説明となっているものを選びなさい。
(2022年 京都府公立入試 類似)
1. 国道4号は栃木県と新潟県の間を通過するルートとなっており、福島県内を通ることはない。 2. 東北地方の北端に位置するため、国道4号の終点として北海道へのフェリー航路と直結している。 3. 県内を国道4号が通過しているが、この国道は日本海沿いに整備されているため秋田県や山形県へのアクセスに優れている。 4. 日本で最も長い国道4号が県内を南北に貫いており、関東地方と東北地方を結ぶ物流の大動脈となっている。
- 問5 東北地方のある県では、農業産出額の構成において「果実」が約28%という高い割合を占めています。このように、稲作のみに頼らず果樹栽培が地域の重要産業として発展した背景として、最も適切なものはどれですか。
(2024年 石川県公立入試 類似)
1. 干拓によって得られた広大な土地をすべて果樹園とし、世界的な輸出拠点として整備されたため。 2. 季節風の影響を抑えるために、平野部をすべてビニールハウスで覆い野菜中心の栽培に転換したため。 3. 人口が密集する大都市圏に隣接しているため、鮮度が重要な果物の近郊農業に特化したため。 4. 冷涼な気候に適した作物を選択し、米の生産に偏りすぎない多角的な農業経営を推進してきたため。
- 問6 東北地方の北東部に位置し、農業産出額において畜産の割合が非常に高い岩手県の農業の特色として、最も適切な説明はどれですか。
(2017年 兵庫県公立入試 類似)
1. サクランボやブドウなどの果実栽培に特化しており、県外への出荷額において果実が最大の割合を占める。 2. 広大な土地を活用した肉用牛や乳用牛などの飼育が盛んで、畜産の産出額が米や果実を上回っている。 3. 庄内平野などの平野部を中心とした大規模な稲作が中心であり、米の産出額が県全体の半分以上を占めている。 4. リンゴの生産量が全国第1位であり、果実の産出額が畜産や米の産出額を圧倒している。
- 問7 東北地方の三陸海岸沖は、北から流れてくる寒流と南から流れてくる暖流がぶつかり合うことで、世界的な漁場となっています。この三陸海岸沖を北から南へと流れる、栄養分が豊富な寒流の名称として正しいものを選びなさい。
(2019年 広島県公立入試 類似)
1. 千島海流（親潮） 2. リマン海流 3. 日本海流（黒潮） 4. 対馬海流
- 問8 東北地方の各県を比較した統計において、人口が約233万人と最も多く、製造品出荷額（約4.1兆円）や年間商品販売額（約1.2兆円）においても東北地方で最大の値を示している県はどこか。
(2021年 茨城県公立入試 類似)
1. 青森県 2. 福島県 3. 岩手県 4. 宮城県
- 問9 東北地方の太平洋側の自然環境と農業への影響について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。
(2020年 熊本県公立入試 類似)
1. 黒潮（日本海流）の影響を強く受けるため、夏は非常に高温多湿となり、入り組んだ海岸線を利用した稲作が盛んに行われている。 2. 冬に北西から吹く季節風が山を越えて乾燥した風となり、太平洋側の入り組んだ海岸線一帯で大規模な乾燥注意報をもたらす。 3. 対馬海流の影響で冬でも温暖な気候が保たれ、平坦な海岸線を利用した野菜の促成栽培が広く行われている。 4. 複雑に入り組んだ海岸線を持つ地域に、夏に冷たい北東の風が吹き込むことで気温が上がらず、寒冷な状況となって冷害が発生することがある。
- 問10 東北地方の工業に関する統計において、製造品出荷額の構成比を確認すると、金属工業が21.3%、化学工業が16.4%であるのに対し、約4割にあたる39.9%を占めて最大となっている産業部門を選択してください。
(2019年 福岡県公立入試 類似)
1. 機械工業 2. 食料品工業 3. 繊維工業 4. パルプ・紙工業
- 問11 東北地方の農業産出額の構成について、人口が最も多い県の特徴を説明したものとして適切なものはどれですか。
(2022年 埼玉県公立入試 類似)
1. 米の産出額が果実の産出額を大きく上回っている。 2. 果実の産出額が米の産出額を上回っている。 3. 人口が少ないため、農業産出額の中で米が占める割合は極めて低い。 4. 漁業生産量のみが極端に多く、農業産出額はほとんどない。
- 問12 東北地方の日本海側に位置するある県について、農業統計を確認すると、米の産出額が約八百四億円であるのに対し、果実の産出額も約六百九十億円と非常に高い数値を示しています。このように、稲作だけでなく果樹栽培が全国的にも極めて盛んなこの県はどこですか。
(2020年 新潟県公立入試 類似)
1. 青森県 2. 秋田県 3. 新潟県 4. 山形県
- 問13 日本列島の東側、千島列島に沿って東北地方の太平洋沿岸を南下する海流は、プランクトンが豊富で魚を育てる「親」のような役割を果たすことから何と呼ばれますか。
(2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 親潮 2. 対馬海流 3. リマン海流 4. 黒潮
- 問14 福島県内陸部に位置する若松は、太平洋沿岸の小名浜に比べて冬の気温が低く、年間の気温の変化（年較差）が大きいという特徴があります。若松の1月の平均気温が約1度、年間の降雪日数が約102日であるのに対し、小名浜の1月の平均気温は約4度、降雪日数は約24日となっています。若松において、冬の降雪日数がこれほどまでに多くなる地理的な要因として最も適切なものはどれですか。
(2024年 岩手県公立入試 類似)
1. 黒潮（日本海流）の影響で大気が不安定になり、雪雲が発達しやすいため 2. 太平洋側から吹き込む湿った南東の季節風が奥羽山脈を越えてくるため 3. シベリア高気圧から吹き出す乾いた風がフェーン現象を起こして冷え込むため 4. 日本海側から吹き込む湿った季節風の影響を強く受けるため